

山口県がん・生殖医療ネットワーク

Yamaguchi Oncofertility Network
(YOF-net : ヨフネット)

小児、思春期・若年がん患者の
妊孕性温存をめざして

利用のご案内

平成30年11月1日制定
令和元年10月1日改定
令和5年3月1日改定

(事務局)

山口県立総合医療センター 産婦人科

設立のご挨拶

■ 名称の由来

日本がん・生殖医療学会が中心となり、すでに全国の半数近くの県で組織されているがん・生殖医療ネットワークを参考に、「山口県がん・生殖医療ネットワーク」としました。また、英文では腫瘍学と生殖医療を意味する「Oncofertility」を使用し、「Yamaguchi Oncofertility Network」と称し、略称をYOF-net（ヨフネット）としました。

■ 設立までの経過

平成 29 年日本癌治療学会から「小児、思春期・若年がん患者の妊娠性温存に関する診療ガイドライン」が発刊され、各県に「AYA世代がん患者に対する妊娠性温存療法」ネットワークが組織されるようになりました。山口県にも設立が必要と考え、平成 30 年 6 月の「第 15 回山口県がん診療連携協議会」でその必要性と現状を報告しました。この会議では平成 30 年 3 月策定の「第 3 期山口県がん対策推進計画」におけるAYA世代がんへの方針が報告され、さらに平成 30 年 7 月 31 日の「がん診療連携拠点病院等の整備について（厚生労働省健康局長通知）」では、地域において「AYA世代がん患者に対する妊娠性温存療法」にかかるネットワークの構築が求められております。そこで、山口県のがん診療連携拠点病院等の院長から推薦された医師 10 名と山口県健康福祉部審議監からなるネットワーク委員会を立ち上げ、協議を重ね「山口県がん・生殖医療ネットワーク」の設立に至りました。

（委員）令和 5 年 3 月 1 日現在

岡 真太郎 国立大学法人 山口大学医学部附属病院（泌尿器科）
末岡 幸太郎 国立大学法人 山口大学医学部附属病院（産婦人科）
宗 完子 都志見病院（産婦人科）
田中屋 宏爾 国立病院機構 岩国医療センター（消化器外科）
土屋 佳彦 山口県 健康福祉部医療政策課長
中村 康彦 山口県立病院機構 山口県立総合医療センター（産婦人科）
長尾 一公 山口県厚生農業協同組合連合会 周東総合病院（泌尿器科）
平澤 克敏 国立病院機構 山口宇部医療センター（外科）
前田 訓子 国立大学法人 山口大学医学部附属病院（乳腺外科）
丸山 祥子 山口県済生会 下関総合病院（産婦人科）
矢野 由香 山口県厚生農業協同組合連合会 長門総合病院（外科）
山縣 芳明 地域医療機能推進機構 徳山中央病院（産婦人科） （アイウエオ順）

■ 活動の内容

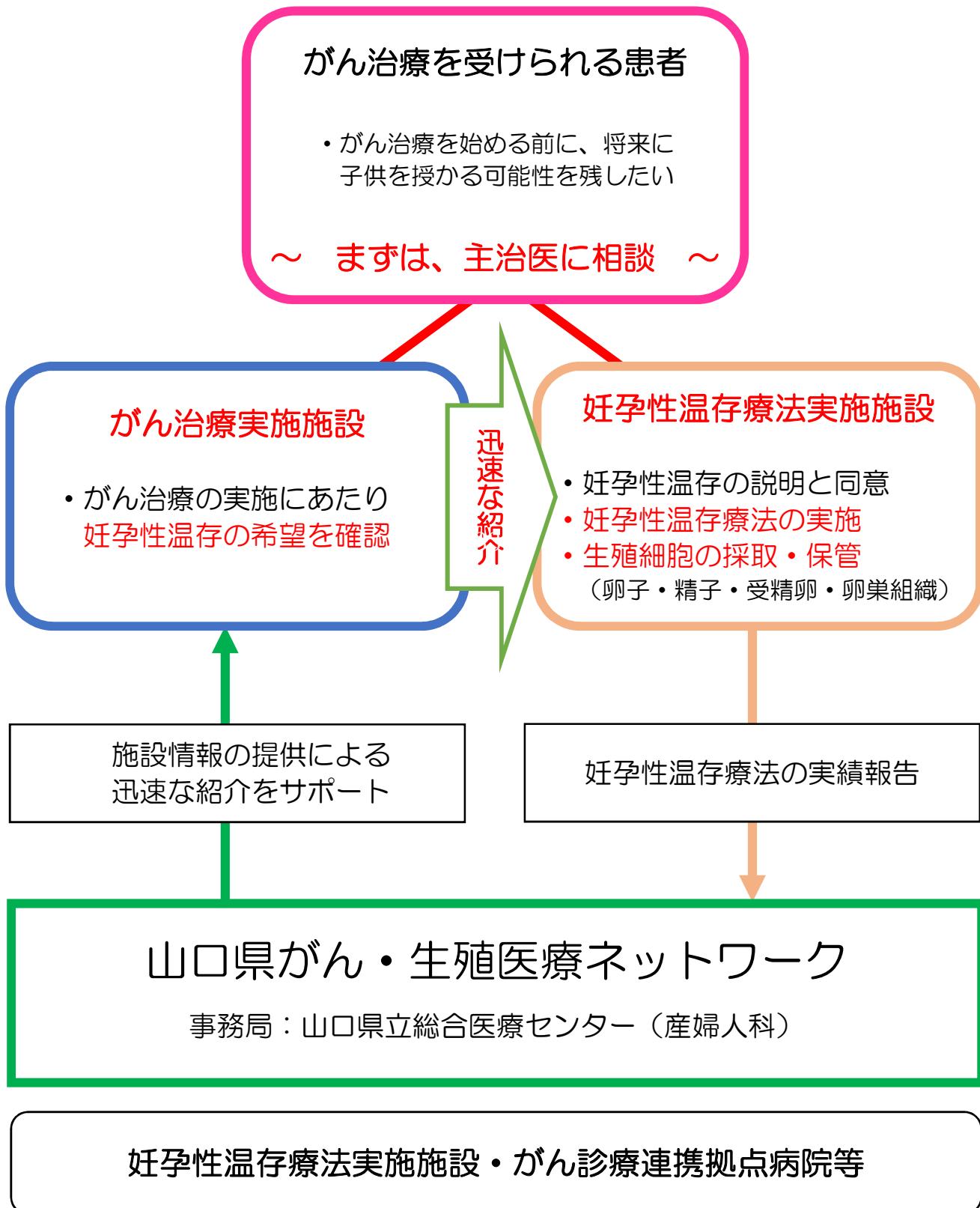
若年がん患者さんに対して、治療前に妊娠性低下に関する十分な情報提供、カウンセリング、妊娠性温存療法の適応やその方法を円滑かつ迅速に提供します。がん治療医、及び生殖医療専門医の連携・情報交換が容易となります。今後共、医療関係者のみならず患者の皆様により正確で最新の情報提供と、この妊娠性温存療法の医療がスムーズに行える体制づくりの強化を図り、県民への良質な生殖医療を提供したいと考えております。

令和 5 年 3 月 1 日

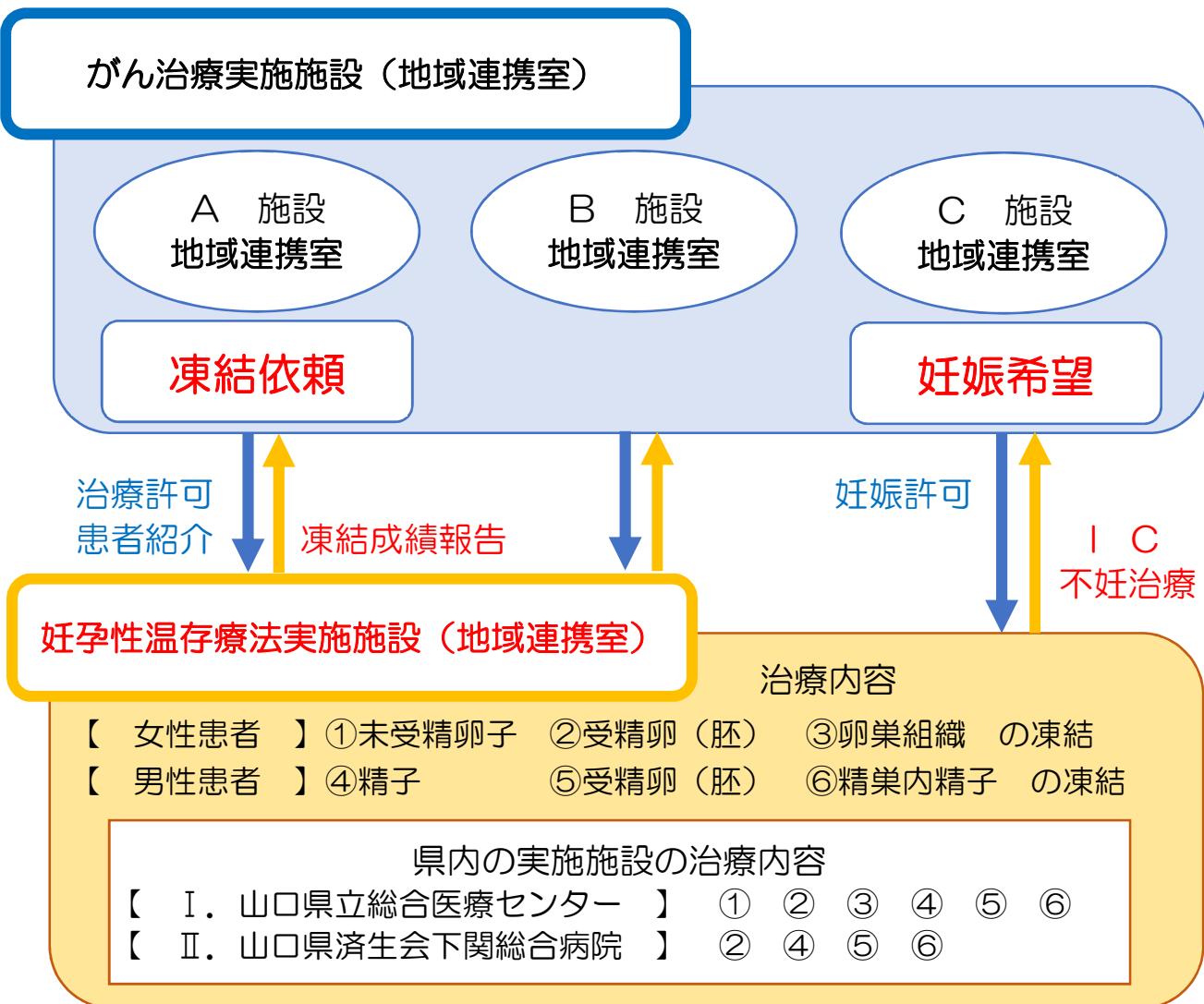
山口県がん・生殖医療ネットワーク
会長 中村 康彦

山口県がん・生殖医療ネットワーク

Yamaguchi Oncofertility Network (YOF-net : ヨフネット)



運用の手引き



● 患者さんの紹介方法

紹介元のがん治療実施施設の地域連携室から、紹介先の妊娠性温存療法実施施設の地域連携室を通じて、紹介先の生殖医療専門医の外来診察等に予約を入れてください。

妊娠性温存療法実施施設のホームページへの入り方

I. 山口県立総合医療センター

- ①トップページ → ②「最新医療への取り組み」から
→ ③「小児、思春期・若年がん患者の妊娠性温存」にお入りください。
※ 患者さんへの説明同意文書・診療情報提供書①&②をご利用ください。

II. 山口県済生会下関総合病院

- ①トップページ → ②診療科・部門のご案内 → ③がん治療センターから
→ ④「がん・生殖医療」にお入りください。